

## 研究計画概要

助成年度・種別	2023年度 一般研究助成
研究代表者	山本 啓一
所属	北陸大学
研究テーマ	店舗における「万引防止ポリシー」が万引対策とその成果に与える影響に着目した万引調査—福岡県における事例分析
研究計画概要	<p>近年、万引の認知件数は減少してはいるものの、他の侵入盗と比較すると減少率は必ずしも高くない。すでに多くの自治体では万引防止ガイドライン等の策定が進んでおり、万引防止策は概ね確立していると言えるが、実際は、多くの店舗や企業で円滑に導入が進んでいるわけではない。</p> <p>本研究は、効果的な万引対策の導入に際して、コスト意識が優先され、導入に消極的な判断が行われがちである店舗や企業と、万引対策導入のコストを正当化するロジックやストーリーをもとに対策が進んでいる企業や店舗の2パターンが存在することに着目する。つまり、経営レベルで意識される「万引防止ポリシー」こそが、効果的な万引防止策の導入および改善に影響を与えているのではないかと。</p> <p>そこで、本研究にあたっては、実際に有効な万引対策を導入している店舗や企業をアンケート調査等で明らかにし、ヒアリング等で「万引防止ポリシー」を明示化していく。万引対策の背後にあるポリシーの重要性を実証することで、効果的な万引防止策の導入に関する提言へとつなげる。なお、研究代表者は福岡県警犯罪予防研究アドバイザーを委嘱されていることから、本研究は主に福岡県で調査活動を行う。</p>
選考委員からのコメント	<p>万引き対策は、その抑止効果の調査だけでなく、経営姿勢とコスト感覚が重要であるという認識から、約 100 店舗対象のアンケートと優れた対策の事例分析、その企業や警察、警備会社等の関係者ヒアリングを通して、優れた「万引防止ポリシー」とその策定プロセス等を店舗の業態等に応じてパターン化するという実践的な調査研究である。調査だけに終わらず、実際に店舗で実装できる「万引防止ポリシー」の策定とその展開を期待する。</p>